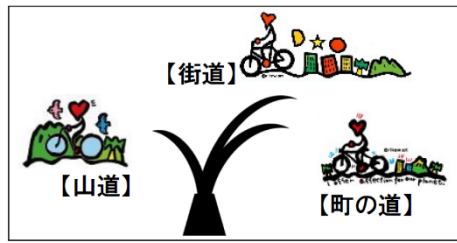


「三種のツーリングコンペティション plus」について！・・・第一次サイクリングブーム当時、大手新聞社主催の懇親会もある自転車の遠乗り大会や大規模な集団サイクリングが催され、道は自転車に乗った男女で溢れたとか！？それがあつという間に霧散したのは、大人のサイクリング(※)の本質が理解されていなかったからとは自転車博士の言葉。その本質とは、「自分自身の力で、自由に、自然のうちを、走ること自体を楽しむ」ことだそうで、転遊研の考えと一致しています。それは当然で、自転車博士、即ち鳥山新一氏主宰の「新しいサイクリングを考える会」で、フランスやイギリスのサイクリング事情を聞きながら、日本では実施が難しい「ブルベ」の存在も知りました。そして、ニューサイクリングの今井彬彦編集長から託された「ブルベ」の実現は、第一次サイクリングブームの当事者達からの宿題と捉えています！

しかし走り出したら自己責任が基本の、レースとツーリングの両方の性格を持つ「ブルベ／ツーリングコンペティション」は、如何にアレンジしたとは言え、日常のセキュリティを超える部分があり、未だアンダーグラウンドな状態。そのため「★街道／ルート・エヌ」「●山道／とれとればいく」「◆町の道／トレジャーハント26」の三種のツーリングコンペティションで、自転車市民権獲得のためのプラスアルファとして「地域貢献型サイクリングクラブ」の必要性を訴えています。上記はそのための2018年カレンダーです。

(転遊研Compass2018・2ページ目に掲載のカレンダー)

※転遊研では、「大人のサイクリスト」が参加するツーリングコンペティションをある意味で「大人のサイクリング」の象徴として考えています。



「★街道」「●山道」「◆町の道」。三種のツーリングコンペティションで、日本の「未知」を遊ぶ、転遊研からの実験企画の提案です。自転車遊びは、ソロ活動とレース活動は、法的にも保証されていますが、その間に存在するグループサイクリングは曖昧な状態です。自転車市民権獲得のための「地域貢献型サイクリングクラブ」の提案に、ツーリングコンペティションの認知は欠かせないと考えます！

ソロ < クラブ ≦ ガイド ≦ コンペ ≦ イベント < レース

セミナー+ツーリング

【自転車ソフト6分割チャート】

ツーリング+レース

グラデーション的な本来の考え方を一時封印し、曖昧な日本の実情に超党派で向き合うために、「セミナー+ツーリング(自転車さんぽ)」で初級ライセンスを、「レース+ツーリング(チョイス)」で上級ライセンスを語ります。



【★街道】「ブルベ」とは「認定」と言う意味のフランス語。ナショナルブルベ100kmコースを47都道府県に！
[01]・・・ルート100エヌ/パイロット山口 [02]・・・さんいん1300

★補足解説:「サイクリングとは、レースを含むスポーツサイクリング全般」とは、UCIのルールブックにある定義です。その意味で一般道を交通ルールに則って走るツーリングコンペティションは、欧米での自転車遊びの中心と言っても過言ではありません。日本でも、警察的にも保険的にも、そして市民権的にも認められれば、大人のサイクリングの幅が広がります。

※ショップの役割にソフトを売ること(情報発信)を入れるなら、バリエーションの充実が前提で、そのための参加者と主催者の両方の気持ちの解る地元のスーパー先達(S級スタッフ)が必要。



【●山道】クローズド&オープン、レース+ツーリング+ワークショップで自転車文化を考える！
[03]・・・マイティデュロ 24+2 [04]・・・BGM 富士八ヶ岳シリーズ 2019

★補足解説: ▲メインメニューに MTB6時間耐久レースを据える理由①第一に、同時多発的に全国で行われた等身大企画であるという点。第二に、レース展開が解り難いが改良次第でチャンピオンスポーツに化ける可能性があるという点！改良のカギは計測システムにあり！ ▲サブメニューにコンペライドを据える理由①限定エリア内で年齢性別車種スキル不問で楽しめる内容にアレンジできるから。(THT26+とれとればいく)÷2=仮称・チョイスを投入予定！?

※クローズドサーキットのレースメニューと、オープンロードのツーリングメニューを組み合わせ、スポンサーの確保やスタッフの交流など、様々な相乗効果を狙う。



【◆町の道】年令性別車種不問で楽しめる等身大企画。地域貢献型サイクリングクラブのプラットフォーム！
[05]・・・毛利両川もえぎの陣 [06]・・・毛利両川もみじの陣

★補足解説: 明治維新150周年応援企画としていますが、それに当てはまらないエリア等もあるので、これまでの萌黄&紅葉RDの特別枠として組み込みます。またそれは本来のネットワークの再構築および地域貢献型サイクリングクラブの提案が主目的であることの確認と、大人のサイクリストへの入口としての可能性を示すこととなります。それが出来るのも、日常利用とスポーツ利用(※)の懸け橋にTHT26が位置しているからです。

※警察見解では「歩行者の利用・自動車の利用」と言われる、自転車利用の二面性です。それをつなぐTHT26は、市民権獲得条件、大人のサイクリストへの入口にも成り得ます！



【*プラス】“明治維新150周年”や“やましろエリアの山道利用”とのコラボ企画
[07]・・・維新かるたドライブ [08]・・・やましろ MTB ツアーズ 2018

★毛利チャレンジ2018/ザッピング型ゲーム旅で温故知新！岩国かるたドライブ明治維新150周年応援企画！
◎維新かるたドライブ◇激戦の章:芸州口の戦い・和木町蜂が峰公園～大鳥口の戦い・周防大島町グリーンステイ長浦
◎維新かるたドライブ◇策源の章:山口市亀山公園毛利敬親公像前～大田給堂の戦い～下関市東行庵高杉晋作像前

★サイクリングフィールド山口/シーサイド、リバーサイド、マウンテンフィールド、山口の“道”を走り尽くそう！
◎やましろMTBツアーズ&ルート探索:○羅漢高原～津和野街道～山代街道～河山・スターリッジトレイル整備 ○岩日北線ルート探索

“サイクリストライセンス”は、初級、中級、上級、S級(オーガナイズ資格)を想定しており、S級が所属する「地域貢献型サイクリングクラブ」が、初級や中級を育てます。また、そのクラブが実践する三種のツーリングコンペティションで地域資源磨きをすることを“ツーリズムメンテナンス”と言います。ここまでが転遊研企画ですが、これに山口県と自転車協会が加われば、化学反応を確認する実験装置が出来そうで、その結果次第では国レベルの企画になると確信します！！



【派生企画】自転車協会が推進する「サイクルエイドジャパン」を「サイクル県やまぐち Project」に取り入れるには！？
[09]・・・維新メモリアル・自転車さんぽ26トーナメント [10]・・・維新メモリアル・ブルベ100プロジェクト

★毛利両川トーナメント+サイクル県やまぐち Project+サイクルエイドジャパン
⇒[05/毛利両川もえぎの陣]と[06/毛利両川もみじの陣]を組み直し、エリア大会～ブロック大会～ファイナル大会と全国展開するトーナメント企画。知名度アップや募金の輪を広げるには効果抜群。

★ルート100エヌ+サイクル県やまぐち Project+サイクルエイドジャパン
⇒[01/ルート100エヌ/パイロット山口]は、サイクル県やまぐちのコースをアレンジしたセルフ出走企画ですが、それにサポートデイを加えることで、画期的なサイクルツーリングスタイルを提案します。